

油圧式ヒッチクレーン 取扱説明書

【品番】HTK-1

この度は「油圧式ヒッチクレーン（HTK-1）」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

* 本書を必ず最後までお読みいただき、商品を正しく安全にお取り扱いください。

* 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(M A I L) info@kikaiya.com

■はじめに

- 商品が到着しましたら7日以内に開封して中身/動作をご確認ください。
付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。
 - 本製品を本来の用途以外には使用しないでください。また、改造はしないでください。
 - 改造により故障及び損傷した場合は保証対象外となりますのでご注意ください。
 - 調査を依頼される際の送料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
-
- 本書記載の内容は製品改良のため予告なく変更される場合があります、お届けした製品と本書記載の内容に一部相違がある場合がございます。
 - 本書記載の内容に反する取り扱いを行ったことにより生じた損害に関して、弊社または販売店は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■安全に関する表示について

 危険	取り扱いを誤った場合、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定され、その危険性が高い内容』のご注意
 警告	誤った方法で使用する、『使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される内容』のご注意
 注意	誤った方法で使用する『使用者が傷害を負うまたは物的損害を負う危険が想定される内容』のご注意

■製品使用上のご注意

警告

- 製品の使い方をよく理解してご使用ください。
- 重大な損傷を負う可能性がありますので、はさみこみや転倒に注意し、常に周囲の安全を確認してください。
- 能力以上の使用は行わないでください。最大荷重以上で使用されると故障や事故の原因となります。
- 素手で鋭利な箇所に触ると怪我をする恐れがあります。
- お子様が手を触れない場所で使用・保管してください。
- 異常が見受けられた場合はすぐに使用を中止してください。

注意

- 不安定な場所での使用は行わないでください。製品が倒れる恐れがあります。
- 荷を持ち上げる前に、脚部がしっかり地面についているか必ず確認してください。
- 脚部の長さは必ず左右同じ長さでご使用ください。
- ボルトやナットは規定のものを使用してください。粗悪品、代替品の使用は控えてください。
- 使用前にナットやボルトがしっかり締まっているか確認してください。
- この製品は吊り上げ専用となり、荷を支えるものではありません。
クレーンは自然降下しますので荷重をかけたまま長時間放置しないでください。

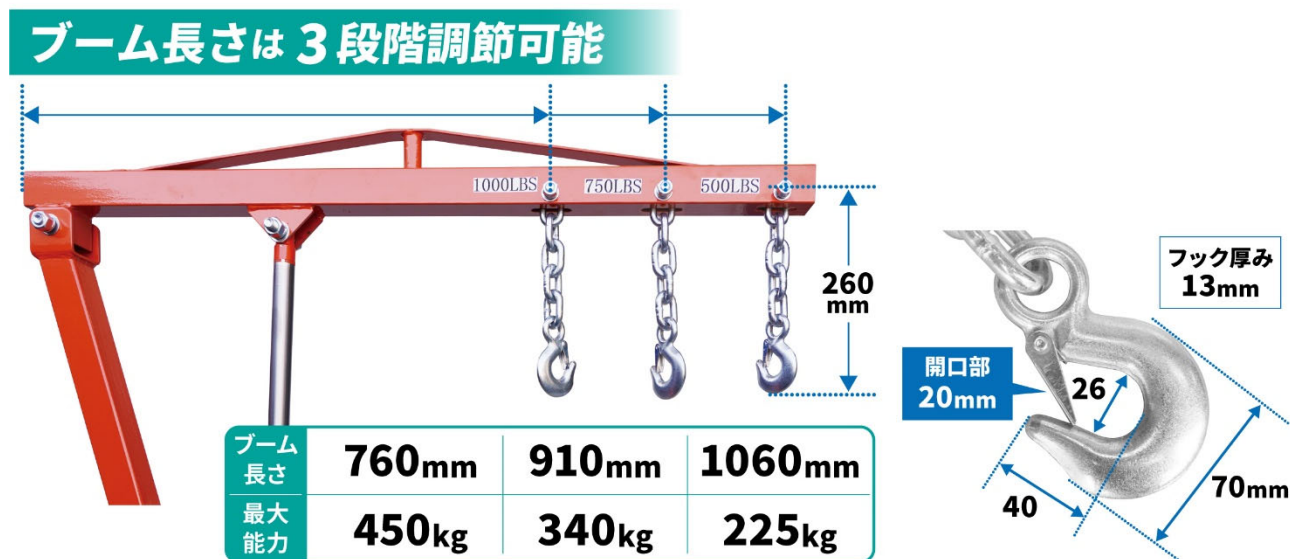
■製品仕様

重	量	52.3kg
ブーム長さ／最大能力		760mm／450kg
		910mm／340kg
		1060mm／225kg
材	質	スチール
適	合	2 インチ角 地面～ヒッチ角の中心までの距離が最低 410mm

※製品改良のため、仕様は予告なく変更される場合があります。

■製品説明

- 2 インチのレシーバーヒッチに取り付けて使用する脱着式クレーンです。
- トラックやトレーラーへの荷物の積み込みに最適です。
- 荷の位置保持ではなく、吊り上げ専用としてご使用ください。
- 回転部分にはベアリングを採用しており荷を吊り上げた状態でもスムーズに回転します。
- ブームの長さは 3 段階 (150mm) で調節可能です。
- ブームの高さは油圧ジャッキで無段階に調節可能 (ジャッキストローク 400mm)
- 取り付けるレシーバーヒッチの高さに合わせて脚部のサイズ調節が可能です。



ブーム高さは
無段階に調節可能

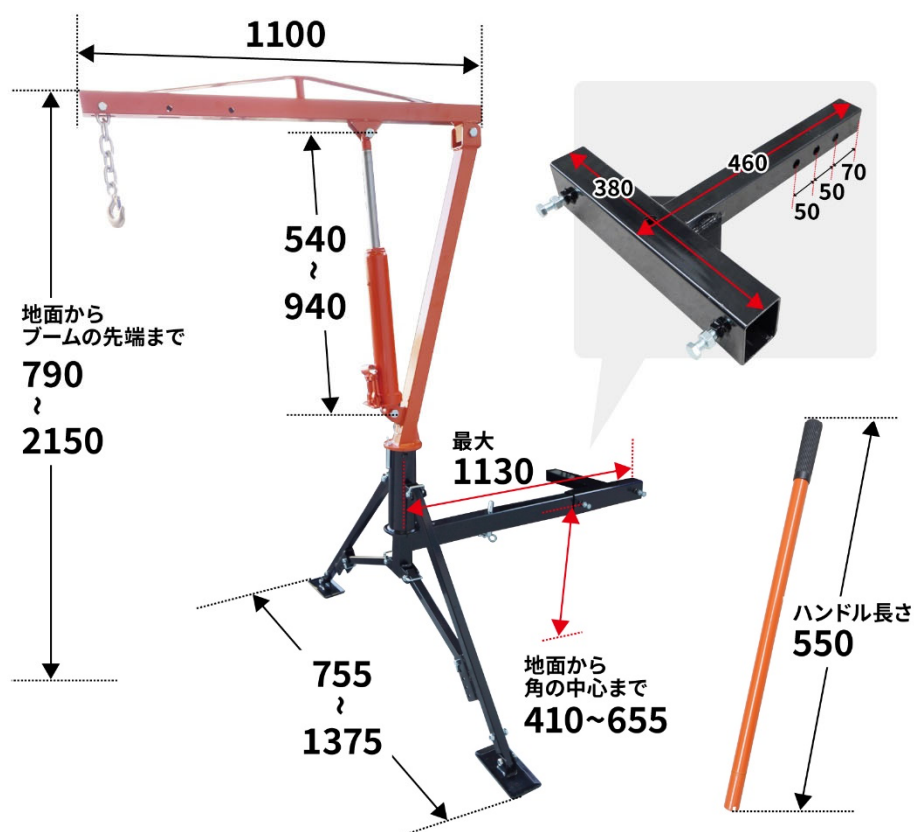
油圧ジャッキ
ストローク **400mm**



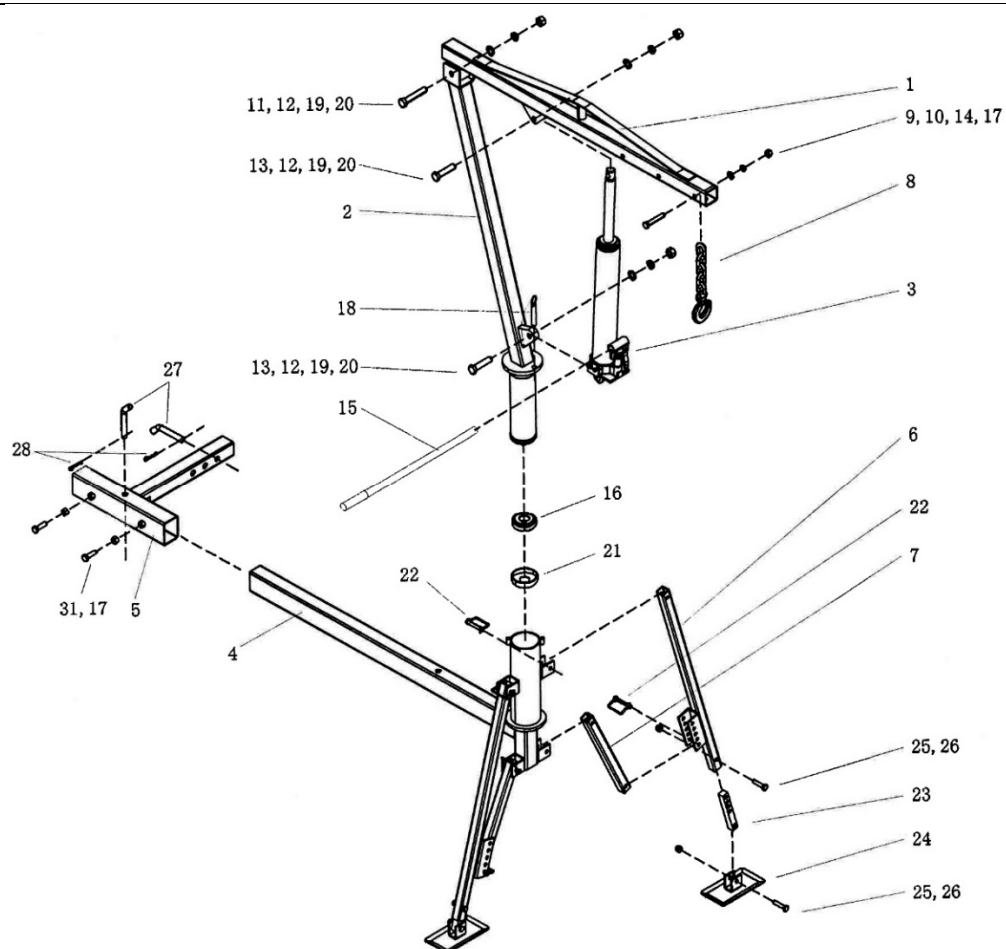
脚部のサイズ調節が可能



SIZE
単位：(約) mm



■ パーツリスト

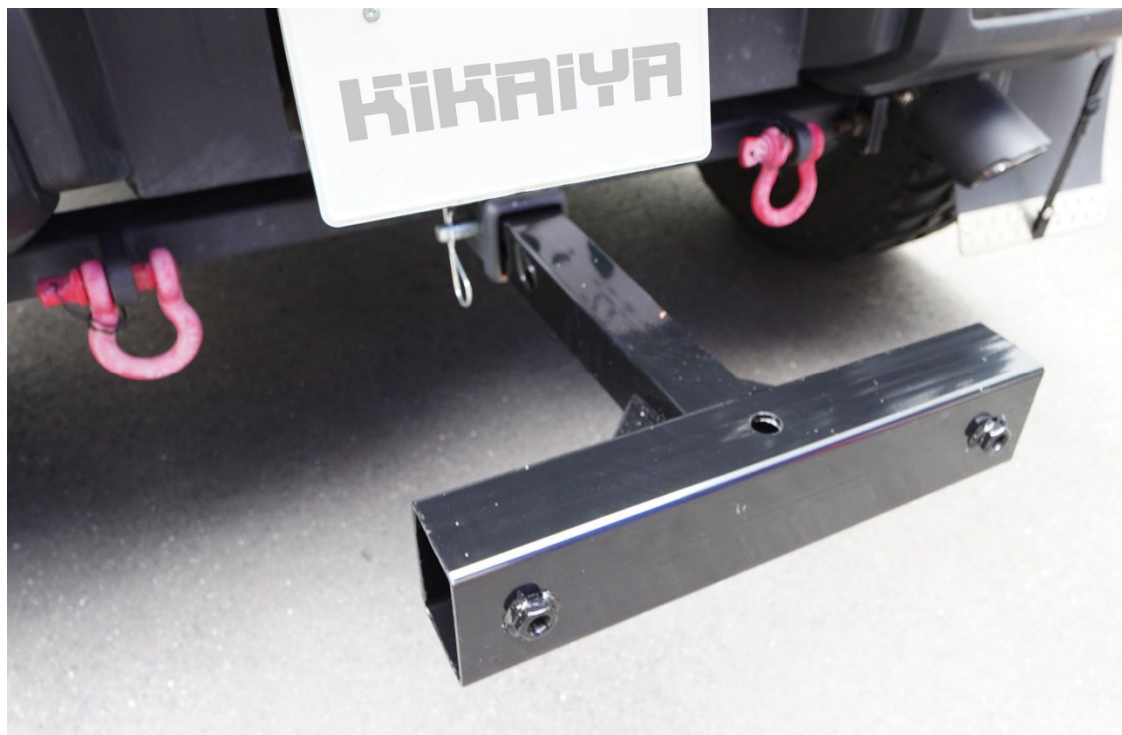


NO.	名 称	数量	NO.	名 称	数量
1	ブーム	1	15	ジャッキハンドル	1
2	ポスト	1	16	ベアリング	1
3	ロングラムジャッキ	1	17	ナット(M12)	2
4	ベースアセンブリ	1	18	ストップピン	1
5	T型コネクタ	1	19	スプリングワッシャー(φ16)	3
6	脚	2	20	ナット(M16)	3
7	接続バー	2	21	ベアリング受け	1
8	フック付きチェーン	1	22	スナッパーピン	6
9	ボルト(M12×70)	1	23	脚部拡張パーツ	2
10	ワッシャー(φ12)	1	24	脚部プレート	2
11	ボルト(M16×90)	1	25	ボルト(M10×45)	4
12	ワッシャー(φ16)	3	26	ロックナット(M10)	4
13	ボルト(M16×75)	2	27	ピン	2
14	スプリングワッシャー(φ12)	1	28	Rピン	2
			31	ボルト(M12×40)	2

■組み立て手順

※安全のため2名以上で作業を行ってください。

Step.1 T型コネクタ(5)をヒッチメンバーに差し込む。



Step.2 ベースアセンブリ(4)を<Step.1>に差し込む。

【使用工具:スパナ 18mm】



Step.3 脚部をヒッチメンバーの高さに合わせて組み、＜Step.2＞に取り付ける。

【使用工具:スパナ 16・17mm】



(26)はナイロンリングが組み込まれている「ロックナット」のため、手締めができません。
必ず工具を使用して締めてください。

Step.4 ポスト(2)を差し込む。



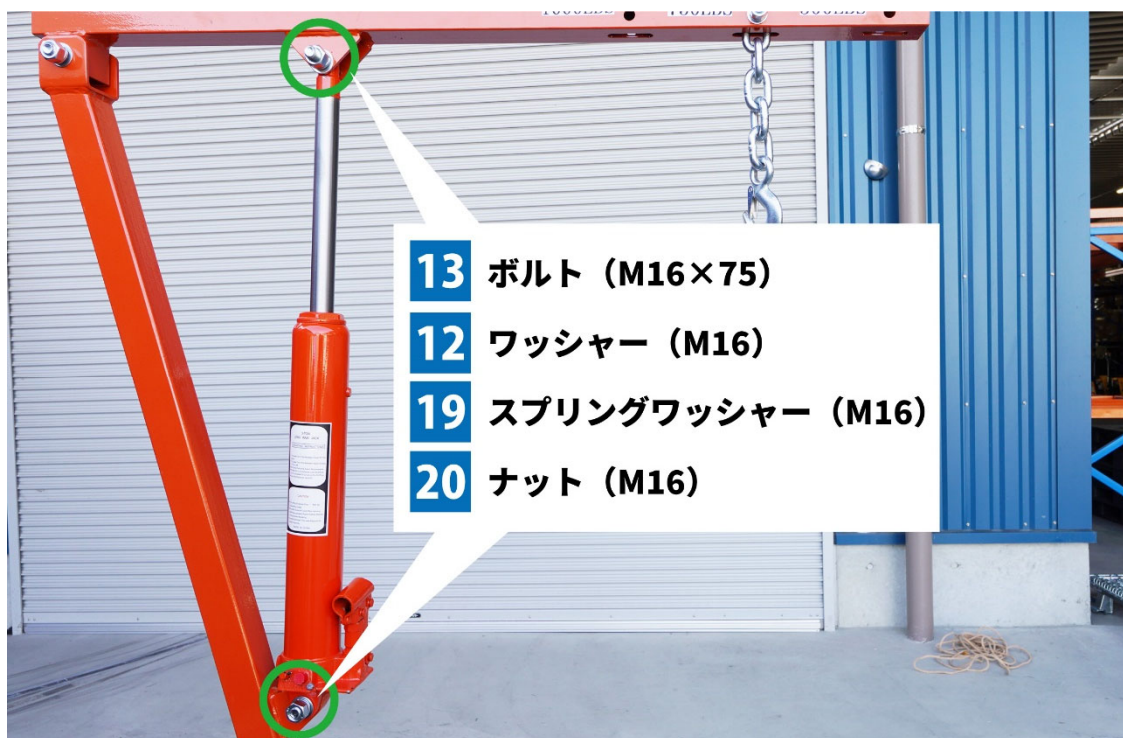
Step.5 ブーム(1)を取り付ける。

【使用工具:スパナ 24mm×2】



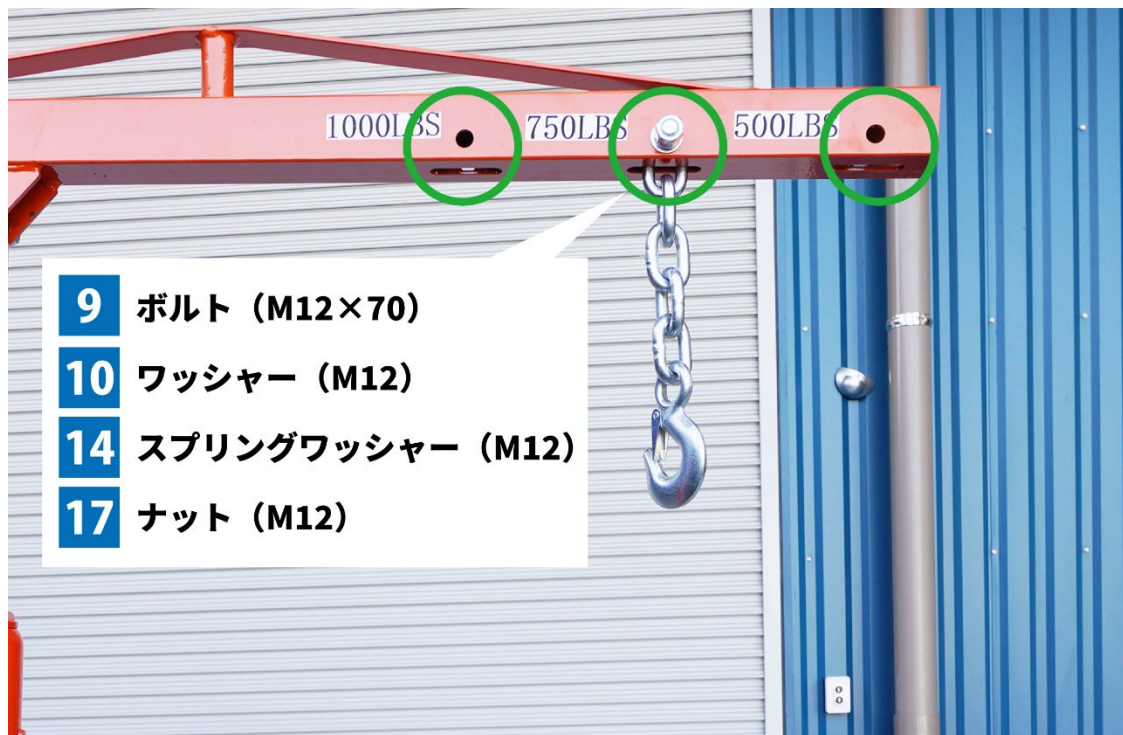
Step.6 ロングラムジャッキ(2)を取り付ける。

【使用工具:スパナ 24mm×2】



Step.7 任意の位置にフック付きチェーンを取り付ける。

【使用工具:スパナ 19mm×2】



<完成！>

■使用方法



◇ブームを上げる

リリースバルブを時計回りで締め、ハンドルを上下してください。

※リリースバルブは締めすぎないでください。

◇ブームを下げる

リリースバルブをゆっくりと反時計回りにまわし、バルブを緩めると下降します。

※リリースバルブは必ずゆっくりと回してください。

荷重がかかった状態でリリースバルブを一気に回すと急激にブームが下がるため危険です。

◇エアー抜き手順

※初回ご使用時にはジャッキのエアー抜き作業を行ってください。

- ① ジャッキが下がった状態で、給油口の栓を手でつまんで取り外し、内部のエアーを抜いてください。
- ② リリースバルブを緩めた状態で 10 回ほどハンドルを上下させてください。
- ③ リリースバルブを確実に締めて、ハンドルを上下すると正常に動作します。

改善されない場合は②の工程を 2、3 度繰り返してください。

※上記の作業で改善されない場合は、オイル不足・ポンプ ASSY が原因での動作不良と考えられます。

■メンテナンス・保管について

- ロングラムジャッキのオイルの補充や交換をする際は【ISO VG32】などの高品質な作動油を使用し、混ぜ物は使用しないでください。
ブレーキ液、アルコール、グリセリン、添加物が含まれたオイル、汚れたオイルは使用できません。
不適切な流体を使用した場合、製品が故障する危険性がございます。
- オイルを補充する際は、ジャッキを縮めた状態でゴミやホコリ等 異物が混入しないよう細心の注意を払ってください。
《オイル量目安：ジャッキを縮めた状態で給油口まで入れる》
- ロングラムジャッキのシリンダーやハンドルにサビや腐食がないか定期的に点検を行ってください。
サビや腐食を防ぐために定期的にオイルをしみこませた布で製品を拭いてください。
- 使用しない際は車両から取り外して保管してください。

■トラブルシューティング

問題	原因	解決方法
荷を支えない	バルブシートの不良	① ブームを下げる ② リリースバルブを締め、給油口の栓を外す ③ ブームを手で持ち上げられるところまで上げる ④ リリースバルブを緩めてboomを下げる ⑤ 試運転をし、正常に移動するか確認する
荷が上がらない	エアー噛み	エアー抜きを行う(P.11 参照)
ポンプが完全に下がらない	エアー噛み	エアー抜きを行う(P.11 参照)
	可動部の油切れ	可動部に注油をする
ポンプが最大まで上がらない	作動油過多	給油口からオイル量を確認し、正常位までオイル量を調節・補充する
	作動油不足	
ポンプが不安定	エアー噛み	エアー抜きを行う(P.11 参照)
	作動油過多	給油口からオイル量を確認し、正常位までオイル量を調節・補充する
	作動油不足	
	ポンプのパッキンが悪くなっている	パッキンまたはシリンダーを交換する